

# やんばる 季節暦 通信

きせつごよみ

2024年9月号

一般社団法人やんばるビジョンは、気候変動によるやんばるの生物多様性への影響を把握する基礎情報を得るために、2021年度より独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて、やんばるフェノロジー（生物季節暦）調査をしています。

2024年度も引き続き「やんばるにおける地域参加型フェノロジー調査の市民調査力と気候変動アクションの取れる人材の育成」と題し、継続してフェノロジー調査と人材育成をおこなっています。

## Yambaru Science Café

### 「はじめよう！ 村民による村民のための村民自然調査」実施報告

今回のビッグゲスト、東京都市大学客員教授・名誉教授／一般社団法人生物多様性アカデミー代表理事の小堀洋子さんをお招きし、市民科学についてのお話とiNaturalistというアプリを実際に試してみる時間を設けました。

参加者は、地域のネイチャーガイドや行政職員、観光業関係、スポーツイベント関係、大学の先生など、様々な方にお越しいただきました。

市民科学のお話では、自然に限らず文化面や災害現場、行政などでの実践例を紹介いただきました。私たち市民が楽しく関わりながら、地域や社会をより良くするための手段、そして参加した方の気づきや学びの機会として市民科学があることを学びました。全国的に人口減少が大きな課題となっている日本。市民科学を通して様々な形で地域づくりに関わる人が増えていく、そんな期待感がありました。

また、世界で活用されているiNaturalistというアプリを使ったお試タイムでは、生きものをほとんど知らない参加者も、生きものの大まかなグループや種類をAIを活用して記録することができました。ヤンバルクイナなど希少種が多いやんばる地域では、使い方に十分な注意が必要なものですが、単なる生きものの記録だけでなく、世界自然遺産管理の課題として指摘されているロードキル対策や外来種管理にも活用が期待できるものと感じました。

私たち地域住民が学びながらやんばる地域の自然を調べ守っていく担い手となる、そんな可能性と裾野が広がる機会となりました。

## 参加者の感想

初めて参加しましたが、とても充実した時間でした。国内で行われた様々な市民科学の具体例を示していただいたので、自分自身の立場に置き換えながら、アイデアを膨らませてお話を聞くことができました。ご講演のあとに、実際にアプリを使って参加者みなさんで「やってみる」時間を設けていただいたので、より実感をもって理解することができました。様々な職種の方が集まっていたので、今後はそれぞれが実践した報告会などもできると良いと思います。次の開催もぜひ参加したいと思います。ありがとうございました！



## iNaturalistとは

海外の国立公園では、来訪者に楽しみながら使ってもらい、自然情報の収集やその情報を基にした環境や生物種の保全に役立っているそうです。まだ試行段階ではありますが、やんばるでも陸地を中心として生きもの情報を収集する仕組みを整備中です。一方で地域柄、密猟や観察圧による影響に注意が必要です。このアプリでは位置情報が記録・公表されるため（設定で非公表にできます）、ご使用される場合は十分にご留意ください。

### 位置情報を出さない方が良いと思われる例

- 捕獲などができる希少種や密猟・盗掘の対象種  
ex トカゲモドキやマルバネクワガタ、ランの仲間
- ノグチゲラやケナガネズミの営巣木



一般社団法人

やんばるビジョン

〒905-1411 沖縄県国頭郡国頭村字辺土名272番地  
info@yambaruvision.org  
https://yambaruvision.org  
https://www.facebook.com/yambaruvision

